



令和8年7月28日

海上保安庁

「海洋環境保全推進月間」の活動結果について

～未来に残そう青い海～

海上保安庁は、5月30日（土）から6月30日（火）までを「海洋環境保全推進月間」と定め、海事関係者等や若年層を含む一般市民に対して、全国各地で海洋環境保全に関する指導や啓発活動を重点的に実施しました。

1 海洋環境保全推進月間における活動結果

訪船指導：817隻

訪問指導：232回

海洋環境保全講習会：36回（参加人数 10,673名）

海洋環境保全教室：95回（参加人数 5,376名）

海浜清掃：43回（参加人数 5,517名） ※漂着ごみの分類調査を含む

2 訪船指導・訪問指導、海洋環境保全講習会

船舶からの油の排出防止を呼び掛けるため、タンカーや漁船等に訪船し、作業時の適切なタンク計測、バルブの開閉確認、燃料漏油防止タンクの適切な設置等の指導を行いました。また、マリーナや漁業協同組合等を個別に訪問し、油の排出防止や廃棄物の適正処理についての指導を行いました。

さらに、海事・漁業関係者やマリンレジャー等を行う方々を対象に海洋環境保全講習会を開催し、海洋汚染の現状、油の排出防止をはじめとした海上環境関係法令の遵守等に対する理解を図りました。



訪船指導



訪問指導

3 海洋環境保全教室

児童を対象に海洋環境保全教室を開催し、参加者の年齢層に合わせて、環境に関する紙芝居の読み聞かせや簡易水質検査等を実施し、海洋環境保全の普及を図りました。



海洋環境保全教室



紙芝居の読み聞かせ



簡易水質検査

4 海浜清掃

全国各地で一般市民の方々と海浜清掃を実施しました。また、回収した漂着ごみの分類調査活動を通して、身近な日用品が投棄され海洋汚染に繋がっている現状を体感してもらい、ごみの不法投棄防止の呼びかけを行いました。



海浜清掃



漂着ごみの分類調査

5 各種周知・啓発活動

地域ラジオ番組への出演、ショッピングモール等の集客施設におけるPR画像の掲示、環境省と日本財団が主催する「海ごみゼロウィーク」イベントへの参加等を通じて、海洋環境保全思想の普及を図るとともに、これらの取組を積極的にSNSに投稿し広く周知・啓発活動を行いました。



地域ラジオ番組への出演



ショッピングモールでのPR



海ごみゼロウィークへの参加

今後も、私たちの共通の財産である海を美しく保つため、「未来に残そう青い海」をスローガンに、指導や啓発活動を広く行うとともに、各機関と連携・協力し海洋環境保全につながる取組を推進していきます。